

デジタルフリーパス・観光施設デジタルパス・オンデマンド交通のサービス内容拡充など 伊豆における日本初の「観光型MaaS」実証実験 Phase2の実施について

東京急行電鉄株式会社
東日本旅客鉄道株式会社
株式会社ジェイアール東日本企画

東京急行電鉄株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、株式会社ジェイアール東日本企画は、国内外観光客が、鉄道、バス、AI オンデマンド乗合交通、レンタサイクルなどの交通機関を、スマートフォンで検索・予約・決済し、目的地までシームレスに移動できる2次交通統合型サービス「観光型MaaS」の実証実験(以下、本実証実験)を、2019年4月1日に伊豆エリアで開始しました。

本年4月1日～6月30日まで実施した「Phase1」では、静岡デスティネーションキャンペーンの好影響もあり、専用MaaSアプリケーション「Izuko」(以下、「Izuko」)の認知が拡大し、ダウンロード数が当初6カ月間の目標値であった2万ダウンロードを、実証実験開始後57日目である5月27日に達成するなど、好調に推移しました。一方、サービス内容や利用可能エリア、操作性などについて利用者ニーズに応えきれない面もあり、利用者やサービス提供施設に負荷をかけてしまうなど、多くの課題も浮き彫りになりました。

「Phase1」での課題を解決し、利用者だけでなく、交通事業者をはじめとする地域の皆さまにより貢献できるサービスを検討した結果、「Phase2」の実施に向け、以下の点を改善します。また、実施期間について、「Phase2」は当初2019年9月1日～11月30日の予定でしたが、開発工程に時間を要すること、また伊豆の多客期に合わせることでより多くの方に利用していただけたと考え、本年12月1日～2020年3月10日に変更します。

「Phase2」の実施内容の詳細については、決定次第、改めてお知らせします。

○「Phase2」での主な改善項目

・デジタルフリーパス、デジタルパスのサービス内容拡充

デジタルフリーパス、デジタルパスの商品ラインナップを拡大します。デジタルフリーパスは、新たに JR 伊東線(熱海駅～伊東駅)の区間や、熱海市内のバス乗り放題チケットなどを追加した4つの新商品を含め、6種類(Phase1では2種類)に拡大します。観光施設入場券などとして利用いただけるデジタルパスは、熱海の「アカオハーブ&ローズガーデン」や下田ロープウェイなど5施設を加えた12種類(同7種類)と拡大します。そのほか、Phase1から下田市街で運行しているオンデマンド交通もPhase2ではデジタルパスに対応し、停留所を11カ所増設して、全27カ所で運用します。

・経路検索の機能拡充

鉄道とバスに加えて、飛行機や船舶での経路検索も可能になります。

・観光施設の運用負荷を軽減

デジタルパスを利用すると、「使用済み」表記にする機能や、リアルタイム集計を導入することで、不正防止や施設の精算作業支援などに繋がり、運用負担を軽減します。



▲アカオハーブ&ローズガーデン



▲下田ロープウェイ

以上

【別紙】

「Izuko」サービス内容 新旧比較表

	Phase1	Phase2
期間	2019年4月1日～6月30日	2019年12月1日 ～2020年3月10日
サービス名称	「Izuko」	
対応言語	日本語・英語	
経路検索機能	鉄道・バス	鉄道・バス・飛行機・船舶
デジタルチケット	【提示型】 デジタルフリーパス: 2種 デジタルパス観光施設入場券: 7種	【提示型】 デジタルフリーパス: 6種 【「使用済み」機能追加型(不正防止型)】 デジタルパス観光施設入場券: 12種
決済方法	クレジットカード	
オンデマンド交通 (下田市街)	【停留所】16カ所(無料試験運転) ※運休10日(本年4月29日～5月5日、 5月17日～19日)	【停留所】27カ所(有料・デジタルパス対応) ※運休予定10日(本年12月27日～ 2020年1月5日)

(参考)

■Phase1実験結果

	数量(件)	摘要
ダウンロード数	23, 231	
デジタルフリーパス	726	ワイド(165枚:23%) イースト(561枚:77%)
デジタルパス	319	小室山リフト109枚 下田海中水族館98枚 黒船遊覧船75枚
AI オンデマンド乗合交通	1, 051	1日平均13人(最高44人)

以 上